

大津百町の歴史的資源を活かしたまちづくり研究会について

●設立の趣旨

大津百町を縦断する主軸路線である旧東海道沿道には、貴重な歴史・文化資源が残存し、中心市街地活性化基本計画に挙げている大津の歴史を活用した活性化を図る上でも、活用が望まれているが、今のところ、歴史・文化の再興や観光振興に有効に活用されていない。一方、「大津百町・東海道の歴史と文化・発見発信フォーラム」等の開催に伴い、点在する資源を結び付ける一体的な整備を求める地域住民の関心や機運が高まっている。

そこで、都市計画の専門家を交え、地元にお住まいの方や大津百町でまちづくり活動をしている方と行政が一体となり、旧東海道沿道の歴史・文化資源（以下「歴史的資源」とする）の活用方策について検討を行うことを目的に、本研究会を設立した。

●目的

大津百町の骨格を形成していた旧東海道及び、大津事件の碑、札の辻、大津宿本陣跡等、旧東海道沿道に残る歴史的資源の中心市街地の活性化に資する整備方針を検討する。

●スケジュール（案）

2010年	▼第1回研究会（24日）
6月	・趣旨及び経緯 ・メンバー紹介 ・歴史的資源の活用に関する意見
7月	
	▼第2回研究会（下旬）
8月	・現況及び課題の整理（現地見学） ・歴史的資源の活用方策及び整備方針
9月	
10月	
	▼第3回研究会（上旬）
11月	・中間まとめ
	▼市民フォーラム（上旬）
12月	・研究会での検討内容の紹介（大津市 23年度予算要求）
	▼第4回研究会（下旬）
1月	・最終まとめ
2月	
3月	

大津百町の歴史的資源を活かしたまちづくり研究会メンバー

カテゴリー	氏名	所属
都市計画	高田 昇	立命館大学 政策科学部 特任教授
地元住民	酒井 英夫	大津市中心市街地活性化協議会 会長、中央学区自治連合会 会長
地元住民	磯村 満雄	逢坂学区自治連合会 会長
地元住民	栢口 智司	鶴里堂、大津祭 月宮殿山囃子方
地元住民	梅村 眞司	餅兵、大津祭 郭巨山囃子方
まちづくり活動	白井 勝好	中心市街地活性化協議会 町家利活用プロジェクト リーダー
まちづくり活動	柴山 直子	中心市街地活性化協議会 町家利活用プロジェクト委員
まちづくり活動	野口 登代子	大津の町家を考える会
民間事業者	山下 充美	株式会社まちづくり大津 課長
観光振興	田中 眞一	社団法人 びわ湖大津観光協会 事務局長
行政	古澤 達也	滋賀県 技監(県庁周辺活性化担当)
行政	樋爪 修	大津市教育委員会 歴史博物館 次長
行政	安孫子 邦夫	大津市逢坂市民センター 支所長
行政	山田 和昭	大津市都市計画部 都市再生課 課長